

2 水がとどくまで

①水の旅



みんなが使っている水は、どんな旅をしているのだろう。

ためる

(10ページを見よう。)

つくる

(12ページを見よう。)



森林

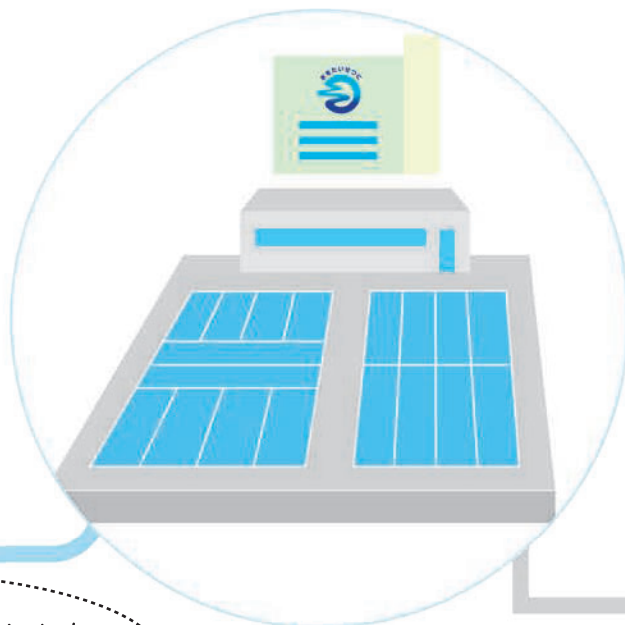
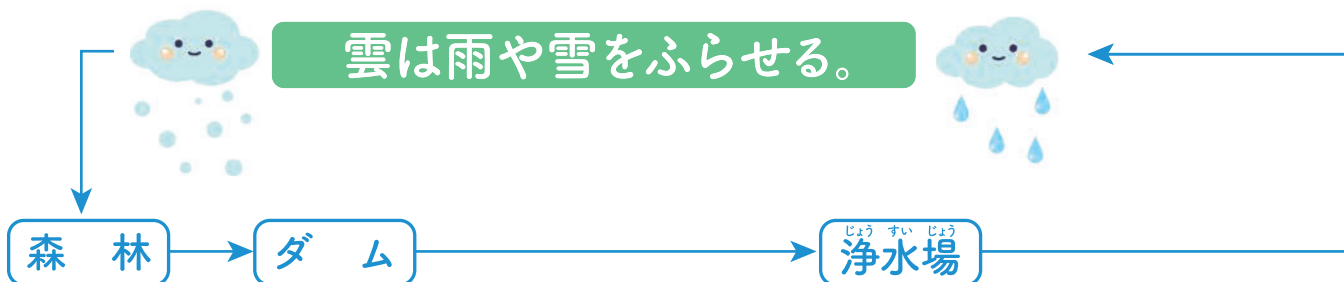


ダム



浄水場

雲は雨や雪をふらせる。

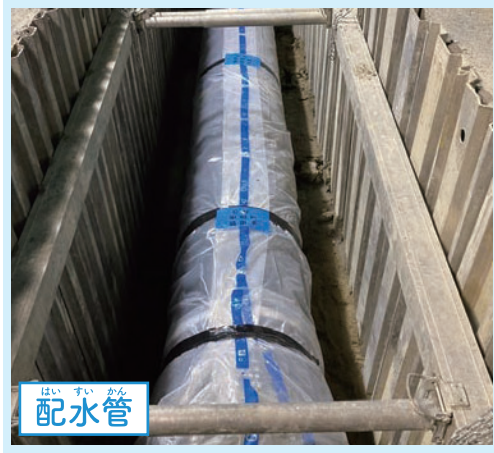


水は、長い旅をしてわたしたちの町や家にとどいているんだね。

(ねらい) 森林に降った雨が、水道水として各家庭や商店などに届くまでのしくみをとらえさせてください。また、一度使った水道水も、やがてまた雨や雪になり、再び水道水として使われているという「水の循環」にも気づかせてください。

くばる

(14ページを見よう。)



雲は雨をふらせ、^{あま みず}雨水は、川やダムに^{なが}流れこみ、そこからくみあげられた水は、浄水場できれいにされ、わたしたちのくらしに^{つか}使われています。使われた水は、水処理センターできれいにされ、ふたたび川や海に流れこみ、川や海の水はじょう発して雲をつくっています。このように水はじゅんかんしているのです。



水がじょう発して、雲になる



水じょう気

学校や家庭・商店など

水^{しゅ}処理^りセンター

海



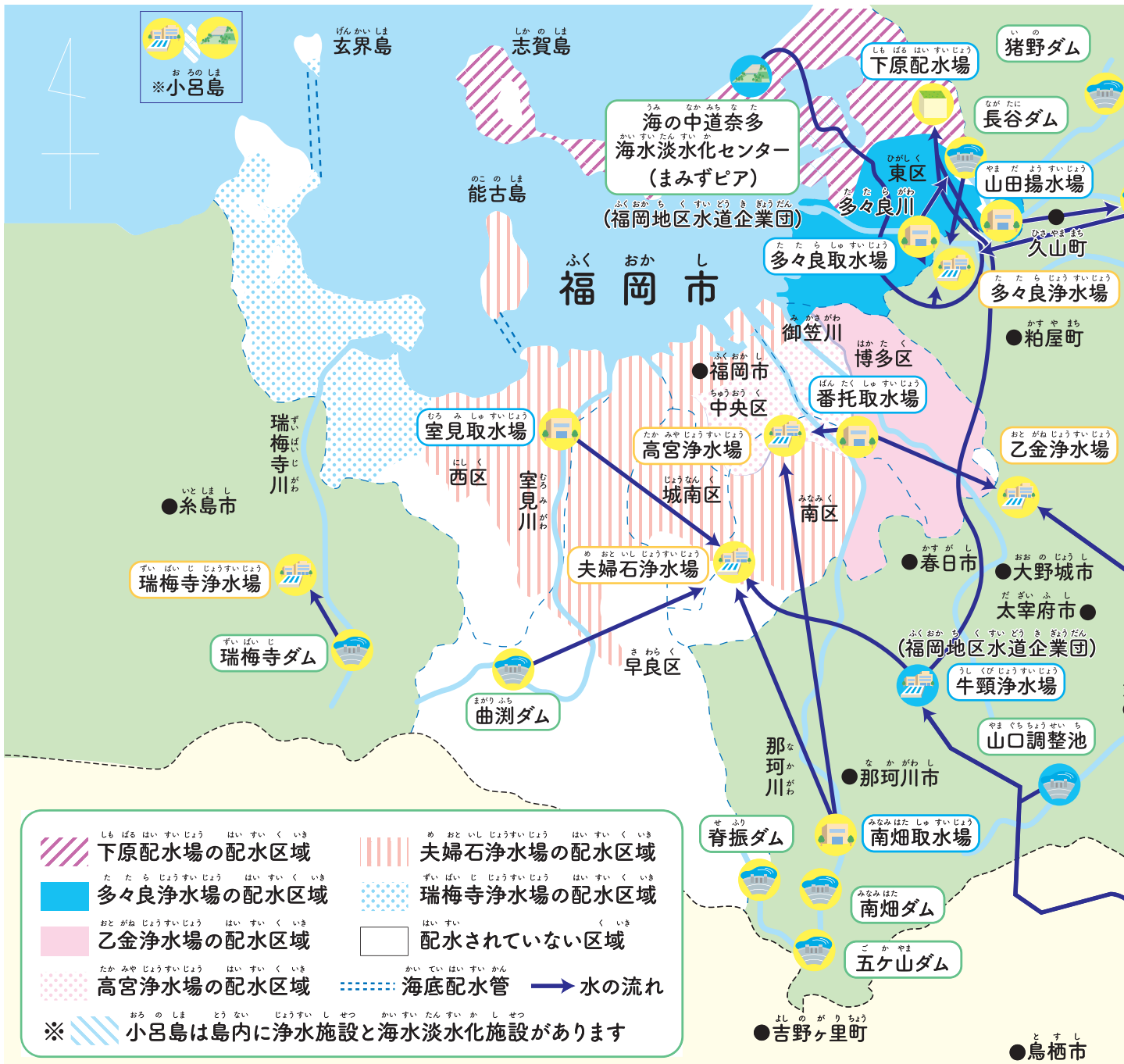
はい すい かん 配水管



げ すい かん 下水管

2 水がとどくまで

② 福岡市の水道のようす



みんなが飲んでいる水は、どこからきているのかな。

佐賀県

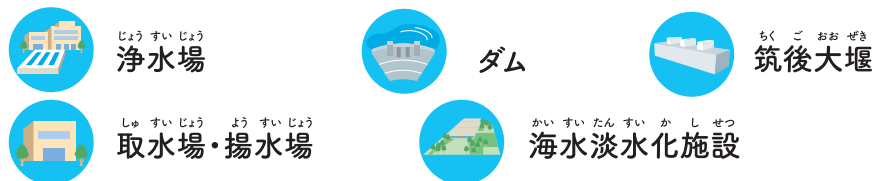
(ねらい) 水の確保のために、ダムや浄水場などの建設がまわりの地域との協力のもとに行われていることに気づかせてください。また、私たちが毎日使っている水道の水が、どのような経路で配られているのか水の旅の道をつくることで学習させてください。

- (解説)
- 玄界島・能古島には、海底配水管を使って水道水が配られています。
 - 小呂島の水道施設については、P30で説明しています。福岡導水についてはP31で説明しています。
 - 久原ダム・長谷ダムは揚水式ダムなので、それぞれ山田揚水場・多々良取水場から水をくみ上げています。

福岡市に直接水を送る施設



福岡地区水道企業団を通して水が送られてくる施設



その他の関連する施設



ダム

浄水場……………ダムや川などの水からきれいな水をつくる施設
 取水場……………ダムや川などの水を取り入れ、浄水場へ送る施設
 揚水場……………川の水をダムにくみ上げる施設
 配水場……………きれいな水をためて市内に配る施設
 海水淡水化施設…海水を真水に変える施設

ダムや浄水場は
いろいろな地域に
あるんだね。

福岡市以外の
ところからも水が
送られてきて
いるんだね！



(解 説) ●福岡地区水道企業団は、福岡都市圏の6市7町1企業団1事務組合で構成されています。福岡都市圏には大きな川がなく、ダムや近郊の川の水だけでは水をまかなうことができないので、遠く離れた筑後川からの水をくみ上げたり、海の中道奈多海水淡水化センターを造ったりして水の確保を行い、福岡都市圏へ水を送っています。

●筑後大堰、福岡導水揚水機場、福岡導水、山口調整池、江川ダム、寺内ダム、大山ダムは独立行政法人水資源機構の施設です。

●牛頸浄水場、海の中道奈多海水淡水化センターは福岡地区水道企業団の施設です。

●瑞梅寺・南畑・猪野・鳴淵・五ヶ山ダムは福岡県の施設です。